

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山 323
電話 ☎ 2111 内線240



春を
思いうかべる
出来秋 (嘉瀬小学校)

主な内容

	P	P
平成2年度決算決まる	2・3	顔……………10・11
健康でいつまでも	4・5・6・7	産業文化まつり案内 12・13・14・15
部活動紹介……………	8・9	金木病院カルテ } ……16 戸籍の窓 }

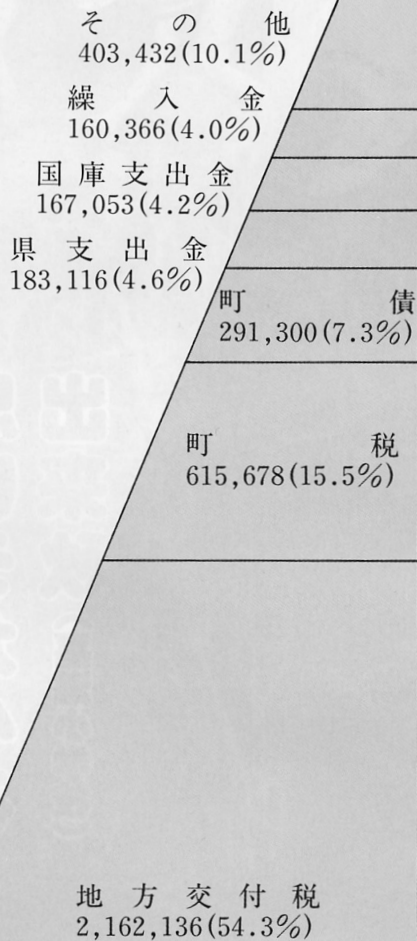
人口と世帯

	9月末現在	前年同月比
男	6,231人	△ 109人
女	6,843人	△ 113人
計	13,074人	△ 222人
世帯数	3,868	

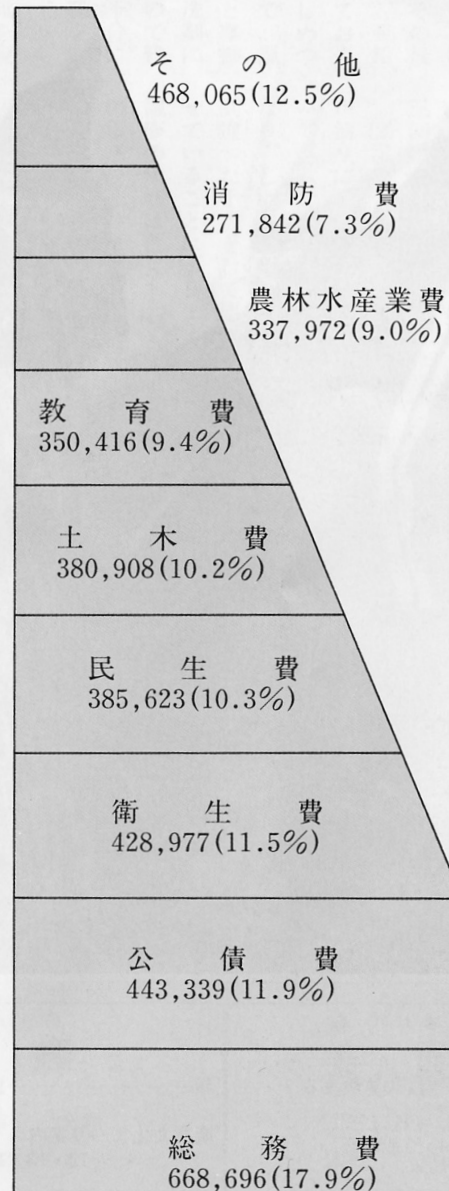
平成2年度一般会計決算決まる

歳入総額	3,983,081千円
	(一人当り304,145円)
歳出総額	3,735,838千円
	(一人当り285,266円)
差引	247,243千円
次年度以降繰越額	22,751千円
実質収支	224,492千円の黒字

歳入の部(千円)



歳出の部(千円)



水道事業会計

収 入	199,689
営業収益	132,517
給水収益	132,312
その他の営業収益	205
営業外収益	67,172
受取利息及び配当金	24,918
他会計補助金	40,136
雑収益	2,118
(供給単価206.54円/m ³)	
支 出	169,267
営業費用	105,699
原水及び浄水費	15,315
配水及び給水費	9,846
総係費	39,422
減価償却費	35,906
資産減耗費	5,210
営業外費用	63,410
支払利息	63,410
雑支出	158
(給水原価264.23円/m ³)	
差 引	30,422

あなたの税

町税の内訳

(収入済額：千円)	
総 額	615,678
(一人当り47,013円)	
町 民 税	251,572
固 定 資 産 税	299,199
軽 自 動 車 税	12,243
町 た ば こ 税	52,664
平成2年3月31日現在の	
収入未済額(滞納繰越額を含む)	
町 民 税	3,759
固 定 資 産 税	38,916
軽 自 動 車 税	95
国民健康保険税	38,752

町の自主財源
といえば税金。
納期内完納を
目指し、明るい
町づくりにご協
力を！

特別会計

(千円)

国民健康保険 特別会計(事業勘定)

(3月31日現在の加入世帯
2,613世帯)

歳 入	1,065,999
国民健康保険税	430,963
使用料及び手数料	148
国庫支出金	531,863
療養給付費交付金	20,939
県支出金	400
共同事業交付金	6,222
繰入金	29,433
繰越金	39,803
財産収入	1,946
諸収入	4,282
歳 出	1,030,892
総務費	50,040
保険給付費	705,522
老人保健拠出金	264,600
共同事業拠出金	6,626
保健施設費	2,649
諸支出金	1,455
(一世帯当り医療費372,549円)	

老人保健 特別会計

(該当者3月31日現在1,309人)

歳 入	699,221
支払基金交付金	490,861
国庫支出金	138,193
県支出金	34,548
繰入金	34,383
諸収入	1,236
歳 出	691,556
医療諸費	689,267
諸支出金	565
前年度繰上げ充用金	1,724
差 引	7,665
(一人当り医療費528,308円)	

農業集落排水 事業特別会計

歳 入	193
繰入金	192
繰越金	1
歳 出	193
公債費	193
差 引	0

主な歳出内訳

(千円)

総 務 費

地域づくり推進事業	163,627
納税組合報償金	14,801
第三種生活路線運行費	8,940
行政情報システム処理	7,931

民 生 費

児童手当	15,573
重度心身障害者医療費	12,445
津軽北部広域事務組合	9,226

衛 生 費

金木病院組合	132,451
西北五衛生処理組合	53,625
水道事業会計	45,353
水道事業特別会計	40,136
老人保健特別会計	34,383
国民健康保険特別会計	29,433
埋立処分場設計委託料	15,759
埋立処分場用地購入	12,215

農林水産業費

新農村地域定住促進対策	53,595
広域農道整備	31,771
農村総合整備モデル	31,129
水田農業確立対策	12,557
県営川倉地区	
水田農業確立対策	11,925

商 工 費

公園整備	32,935
県信用保証協会出資金	19,000

土 木 費

町道整備	159,465
公営住宅建設	55,449
駅裏住宅用地購入	20,584
除排雪委託料	20,511
地方道改修	15,585
除雪ドーザー購入	11,485

消 防 費

津軽北部広域事務組合	230,963
防災センター等建設	15,626

教 育 費

金木南中学校大規模改造	46,838
嘉瀬小学校改築	16,150
教育用パーソナル コンピューター購入	16,150

そ の 他

長期償還元金	249,841
長期償還利子	193,498
災害復旧	17,600

健康でいつまでも 平成3年度金木町「敬老大会」

90歳以上の長寿者46人



▲町長より顕彰状をうける受賞者

平成三年度の金木町敬老大会が九月十三日、「社会に活かそう知恵と経験、みんなで築こう豊かな老後」をスローガンに町中央公民館に約五百人のお年寄りが集まって開かれた。

大会では物故者への黙とうのあと田中町長が「金木町は北郡の中心地でありま

す。なるべく早い機会に金木の老人クラブは素晴らしい。と言われるように行政としても努力いたします。これからも健康に留意して長生きしてください」と挨拶し、引き続き県顕彰状の伝達と町顕彰状の贈呈が行われた。

次に金木小学校六年成田亜里さんが「おじいさんはがんばりや」、嘉瀬小学校

二年伊藤玲恵さんが「大きき！おばあちゃん」、喜良市小学校四年桑田健くんが「ぼくのおばあちゃん」、川倉小学校四年白川真美さんが「三味線のすきなおばあちゃん」と題して作文を朗読、会場から割れんばかりの拍手を浴びていた。

最後に来賓の方々がお祝いの言葉を述べ、盛会裏に終了。一息ついた後、「扇松会」一行による手踊り民謡ショーがあり、お年寄りが一日楽しい日を過ごした。

※顕彰受賞者は次の通り。
県顕彰受賞者
九十歳に達した長寿者

- | | | | |
|-------------|-------------|---------------|-------------|
| 加藤 トク(湯の川) | 白川 かよ(沢部) | 古川左一郎(喜良市川端町) | 竹内 ミサ(藤枝) |
| 工藤喜代衛(美晴町) | 藤元 スミ(三軒町) | 澤田 ソノ(嘉瀬下昭和町) | 中西 ヤエ(米町) |
| 小山内晴夫(美晴町) | 小松 ミヨ(上鍛冶町) | 小笠原ア子(神明町) | 斉藤 イヨ(上宇田野) |
| 対馬 いそ(美晴町) | 中谷 カヨ(向道) | 田中栄太郎(沢部) | 鈴木 ヨソ(東町) |
| 白川 かよ(沢部) | 徳田 ツセ(芦野町) | 加藤 ツヨ(若松町) | 平川 イマ(下古町) |
| 藤元 スミ(三軒町) | 田中 多作(中山道町) | 大佐賀三次郎(向道) | 白川 重一(蒔田) |
| 小松 ミヨ(上鍛冶町) | 町顕彰受賞者 | 阿部 重吉(神明町) | 泉谷 マン(下宇田野) |
| 九十歳以上の長寿者 | | | 外崎三千男(畑中) |

- | | |
|---------------|---------------|
| 棟方 さな(東町) | 白川 タヨ(女坂) |
| 濱田 きせ(嘉瀬上昭和町) | 高橋樫太郎(北新町) |
| 黒川 ふに(後町) | 加藤 トク(湯の川) |
| 奈良惣五郎(湯の川) | 工藤喜代衛(美晴町) |
| 小野 たき(喜良市下派立) | 小山内晴夫(美晴町) |
| 角田 サト(朝日町) | 対馬 いそ(美晴町) |
| 濱田 さき(嘉瀬下派立) | 白川 かよ(沢部) |
| 今 謙光(下柏木) | 藤元 スミ(三軒町) |
| 葛西 つよ(更生部落) | 小松 ミヨ(上鍛冶町) |
| 田村 なり(田町) | 中谷 カヨ(向道) |
| 戸崎 チヨ(湯の川) | 徳田 ツセ(芦野町) |
| 葛西 ちぎ(若松町) | 田中 多作(中山道町) |
| 泉谷 正義(下宇田野) | 米谷 豊八(喜良市下派立) |
| 工藤福太郎(湯の川) | 津島 サヨ(米町) |
| 泉谷 ヒヤク(向道) | 山中 ヤサ(下鍛冶町) |
| 白川 かし(湯の川) | 原田 イセ(新誠町) |
| 白川 太郎(沢部) | 上森 マサ(金木昭和町) |
| 秋元 ソテ(下古町) | 八十五歳に達する長寿者 |
| 秋元 ソテ(下古町) | 工藤 トセ(藤枝) |
| 桑田 豊吉(喜良市上派立) | 中谷 タヨ(上宇田野) |
| 外崎惣五郎(蒔田) | 逢坂 繁勝(藤枝) |
| 秋元 ハル(新富町) | 沢田 キワ(湯の川) |
| 岡田 竹松(林町) | 竹内 ミサ(藤枝) |
| 古川左一郎(喜良市川端町) | 中西 ヤエ(米町) |
| 澤田 ソノ(嘉瀬下昭和町) | 斉藤 イヨ(上宇田野) |
| 小笠原ア子(神明町) | 鈴木 ヨソ(東町) |
| 田中栄太郎(沢部) | 平川 イマ(下古町) |
| 加藤 ツヨ(若松町) | 白川 重一(蒔田) |
| 大佐賀三次郎(向道) | 泉谷 マン(下宇田野) |
| 阿部 重吉(神明町) | 外崎三千男(畑中) |

- 藤森 チエ (沢部)
- 高田 ナヨ (東町)
- 今 チヨ (喜良市川端町)
- 前多みさを (若松町)
- 川口 キシ (新富町)
- 中谷 直義 (下宇田野)
- 白川 サガ (沢部)
- 田中 金作 (湯の川)
- 木下 タマ (神明町)
- 宮館 タケ (林町)
- 秋元 マサ (蒔田)
- 佐藤忠五郎 (喜良市下派立)
- 塚本 キセ (金木川端町)
- 丹場 金作 (若松町)
- 田中 ツワ (朝日町)
- 前田禮之助 (神原)
- 中谷 シサ (上宇田野)
- 八十歳に達する長寿者夫婦
- 山中富士男 (上鍛冶町)
- フジエ
- 白川傳右衛門 (蒔田)
- ミサ
- 小野 實 (野崎)
- セツ
- 三上 明 (寺町)
- たよ
- 石戸谷末太郎 (金木昭和町)
- タガ
- 今 義一 (東岩見町)
- イエ
- 三橋竹五郎 (藤枝)
- キエ

おじいちゃん おばあちゃん お孫さんの 作文発表ですよ



おじいさんはがんばりや

金木小学校六年

成田 亜里



こと教えてあげたりするんだよ。だから、人の気持ち分かってあげられるおじいさんは、すごいんだよ」といっています。私も、一ヶ月も来れないほどいそがしくて、つかれないのかなアと思います。でも、おじいさんは、とても元気で仕事がいそがしいようです。

私のおじいさんは、今七十三才です。頭は白がだらけだし、顔はしわくちゃです。でも七十三才に見えるほど健康だし、とてもがんばりやです。

今は、小泊村の教育委員会で働いていて、一人で下宿生活をしています。

だから、おじいさんが家に帰って来ると、とてもうれしです。

でも家には、二週間に一度ぐらいしか帰ってきません。運動会や老人クラブなどの行事がある時は、一ヶ月も帰りません。

そういうおじいさんを、お父さんやお母さんは、「いつも元気で働いて、がんばるなア」といっています。

おばあさんも「おじいさんの仕事は、人にいろいろな

大すき…おばあちゃん

かせ小学校二年

いとう あきえ



おばあちゃんは、六十五さいでまだ、わかく元気いっばいです。名前は、いとうみよえと言ひ、かわいいかんじがします。

おばあちゃんは、わたしのことを、すごく思ってくれて、ちよつとでも、かえりがおそいと、学校に行つてみたり、道ろに出てみたりして、わたしのすがたが見えると、今までしんばいしていたのが、うそのようにえ顔にかかります。そして

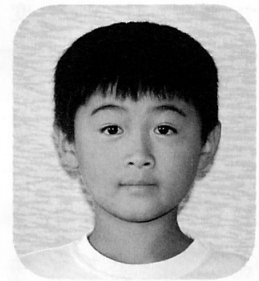
「ごさ行つたらだば、ばつちやしんばいして外さ行つて見だだろ。」と言ひながら、わたしの頭をなせてくれます。

それから、おばあちゃん は、歌やおどりが大すきで はな歌が聞こえるときは、

ぼくのおばあちゃん

喜良市小学校四年

桑田 健



つきり速く小屋につっぱし
って行って、どうぐをよう
いしました。

さっそく二人で自転車に
のって出かけました。家の
さかのところをぼくが軽々
のぼっていったら、

「よぐ、そったさがのぼれ
るな。わけものちがうな。」
と、ハアハア言いながらつ
いてきました。

さいしよに、ぼくが中ぐ
らいのフナをつって見本を
見せました。おばあちゃん
は、

「そうやってつるんだなあ。」
と感心していました。

その時、おばあちゃんの
うきが引きました。そした
らおばあちゃんは、

「健、どうせばいいんだば。」
と、オロオロしていました。
あわてながらも、つりざお
を引いてみたら小さなフナ
がついていました。

「つれたじやなあ。」

と、言ったら、おばあちゃん
が、てれくさそうに魚を
見て、

「ぼっちゃの方、小せな。」
と、ぼくに言いました。
そのあと、思いつきりつ
って、ぼくは、まんぞくし

ていえにかえりました。
こんなおばあちゃんだか
ら、夕方、すぐつかれた
ひょうじようでいる時があ
ります。そんな時、おばあ
ちゃんは、ぼくに、

「あがこすってけるなあ。」
とききます。ぼくはすぐに、

「いいよ。」

と、いいます。すると、

「やつぱり、健だもんなあ。
なんぼありがてばあ。」
と、言って、おふろに入りま
す。それで、おばあちゃん
のあかを、こすってこすつ
てなっとくするまでこすつ
てあげます。おばあちゃん
は、

「なんぼ上手だば。」
と、うっとりした目で言いま
す。

おふろからあがって、おば
あちゃんのへやへ行くと、

「気もぢいど、ねねな。」
と言います。

「うん。」

と、言って、いっしよにねた
りします。するとおばあち
ゃんは、

「安心してねれるじや。」
と言います。そう言われる
と、ぼくも安心してねれま
す。おばあちゃんといっし

きげんがいいようです。
おどりは、このはな歌にあ
わせてカガミの前で、かつ
こうをつけておどったり、
そうじをしているときなど、
テレビから歌が聞こえてく
ると、すぐにおどりだしま
す。でも、わたしにはおど
っているのがわからずに、
「何をしているのかな、お
ばあちゃんは。」

と聞いたことも、ありまし
た。

また、でんわがきて、お
ばあちゃんが、さいしよに
出る時は、

「もしもし、いとうです。」
という声を出しますが、自
分の知っている人だと、す
ぐつがるべんまるだして、
「すねからだすて、かぜえ
あ ふぐろっ。」とか
「つら きたねふて わら
わあえるろあ。」とか
「いいはねもどすてらつき
や。」:

うので、おばあちゃんに見
えないところで、くすぐす
つわらってしまいます。
もつとおもしろいのは、
わたしが学校からかえって
きて

「ただいま。」
と言ってもシーンとしてだ
れもいません。おばあちゃん
が、出かけているのだと
思っていると、かくれんぼ
をしていて、きゆうに、

「おかえり。」とかげからこ
つそり出てくるので、びっ
くりします。

おばあちゃんのとくいの
メニューは、おでん、馬肉
のやさしいため、にこみう
どん、カレーライスときま
っているの、わたしがが
っかりします。だから、お
母さんがかえりのおそい日
は、しんばいで、

「きょうのメニューは。」と
聞くとおばあちゃんは、に
こにこと、わらって教えて
くれません。おばあちゃん
の作ったものは、おもしろ
いのですが、わたしは、あま
りすきでないメニューばか
りなので、おばあちゃんに
わるい気がします。

おっちょこちよいで、よ

くわすれものをしたりもし
ますが、わたしは、おばあ
ちゃんのえ顔が大好きです。
しわがいつばいあつて、目
もパッチリしていないし、
入ばをはずすと、くしゃお
じさんのようになつてしま
いますが、それでもいいの
です。おばあちゃんのメニ
ューにもあるような、あつ
たかしい心がいいのです。

「おばあちゃん、まだ、ま
だ、わかい六十五さいです
たくさんすきなことをして
たのしんでください。わた
しのめんどうを見るのは、
たいへんでしようが、おね
がいます。おにいちちゃん
もわすれないでよろしくね
こんどは、わたしが歌を歌
うのであわせて、おどつて
見てくださいね。」大すき
：おばあちゃん。」



去年の春、ぼくが畑仕事
を手伝っていた時のことで
す。じょうだんに、

「ぼっちゃ、さがなつりさ
いぐが。」

と、言ったら、しばらくだ
まっていたが、

「ウン、どござ行ぐば。」
と答えてくれました。ぼく
は、まるでふうせんがボワ
ーとふくらんでいくように
心はずみました。おもい

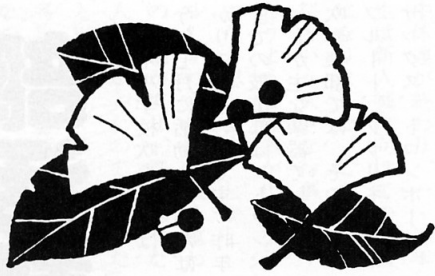
「やっぱり、健だなあ。」
と、ほめてくれるおばあち
ゃんです。

去年の春、ぼくが畑仕事
を手伝っていた時のことで
す。じょうだんに、

「ぼっちゃ、さがなつりさ
いぐが。」

と、言ったら、しばらくだ
まっていたが、

「ウン、どござ行ぐば。」
と答えてくれました。ぼく
は、まるでふうせんがボワ
ーとふくらんでいくように
心はずみました。おもい



よにねるとあまり気持ちがよくて、よくねぼうをするのでほしい土曜日にきめています。

ぼくのおばあちゃんは、せがちいさいから、とおくから見ると子どもみたいに見えます。あそぶときも、子どものようにあそんでくれます。ぼくが、がっこうにくる時、まどのところ、いっしょうけんめい手をふつてくれるおばあちゃんです。

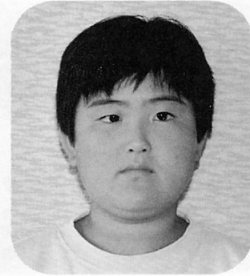
ぼくは、いつも、心に思っています。
「ばっちゃん、ありがとう。」

三味線の

すきなおばあちゃん

川倉小学校四年

白川 真美



わたしの家のおばあさんは、今74才です。

冬入院するまでは、金木のれんばいで魚をやいてはたらいしていました。

おばあさんは夏、朝4時30分ぐらいに起きて、畑に行つて、草むしりをやったり花の手入れをしていました。7時30分ごろには、家にはいつてきてごはんを食べてかられんばいに言っていたのです。

れんばいから6時ごろ帰つてきて、また畑仕事に出かけます。

きつと、草むしりをしたり、種を植えているのだと思います。7時30分ごろに家にはいつてきて、ごはんを食べて9時ごろにはねてしまいます。

わたしは、「おばあちゃん、朝がら夜まではだらいでつかれねんだべが。」

冬になると5時ごろにはもう起きて、雪かきをしています。

私が6時ごろ起きると家の前の道路は、いつもきれいになっています。

わたしは、「おばあちゃんすごいな。」

とおもっています。でもおばあさんは冬、かぜになつて入院してしまいました。

その時わたしは、「早く元気になればいいな。」

と思いました。一ヶ月ぐらいにゆういんしてやっとたいいんしたのです。

おばあさんは今とっても元気なのでわたしは、「よがった。」

と思います。でも春すぎてから、おばあさんは、こんどは、貝をつ

なぐ仕事にいつています。貝をつなぐ仕事から帰つてきてでもまた、前のように

畑仕事に行くのです。

わたしは、「よぐはだらくな、つかれねばいいな。」

とおもって心配することがあります。

おばあさんは、春からわたしがしゃみせんをやっているから上手になるのをいつ

もたのしみにしていました。夏休みにテレビ局の人がしゃみせんをやっていると

ころをインタビューに来ました。

わたしがしゃみせんをひいて歌つていると、「上手ですね。」

といつてうつしました。そのテレビが6時30分のニ

ュースワイドに入ったので、みんなで見ました。

おばあさんは、こんどは、「ビデオさつたのみるべし。」

といつてなにかいもなんかいもみました。何日かするとおばあさんは

わたしがしゃみせんをやっている公民館にきてれんしゆうをみていました。

そして、しゃみせんをちゆうもんしてくれたのです。とても高かったのでおばあちゃんよぐお金あるなあ

思いました。3日ぐらいたつとしゃみせんがきました。

あまりうれしかったので夜におばあさんの前でひくと、「いっばいれんしゆうして

上手になれ。」

といつたので、その時、「いっばいれんしゆうして、

がんばつてじよんずさなねばな。」

とおもいました。わたしがいえてしゃみせんをれんしゆうしているとい

つもじつときいて、「じよんずさな。」

とほめてくれます。

わたしは、「いろいろなのおぼえるぞ、おばあちゃんをたのしませてやるぞ。」

とれんしゆうにはげんでいます。

わたしは、「おばあちゃん、病気さな

んねんで、いっばいながいぎせばいいな。」

と心の中で思いながら三味線をひいています。

今、練習しているのを少し聞いてください。
(三味線の演奏を披露)



部活動紹介

金木小学校吹奏楽部は、今年七月に活動を始めたばかりの新しい部です。昨までの鼓笛部は、トランペットが主な楽器でしたが、吹奏楽部では、その他にフルート、クラリネット、サククス、トロンボーン、ユーフォニウム、バス等があります。

顧問の先生は、山内先生、齋藤先生、松山先生と二期から新しく成田先生が加わり、四人で指導しています。

部員は、現在四十名で、毎日二時間ぐらい練習しています。まだ、新しく楽器を持ったばかりなので、音を出すのが精一杯という感じで、基礎練習が、中心です。

でも、十一月一日に、本校で行われる、音楽発表会に向けて、曲の練習も熱が入ってきました。この日が初舞台となるわけですが、部員の心が一つとなって、皆様にすばらしいハーモニーを聞かせることができるよう、一生懸命頑張っています。また、十一月二日には、町の文化祭でも演奏することになり、部員一同、張り切っています。今後とも、金木小学校吹奏楽部の応援をよろしく願います。

金木小学校吹奏楽部
部長 阿部 洋介

金木小学校 吹奏楽部



山口香講演会 美女のお話しにうつつり

女三四郎として女子柔道界において名を馳せた、山口香さんの「小さな私でも『やれば』できた」と題する講演会が九月十四日、町商工会館で開かれた。

当日は小雨が降るあいにくの天候となったものの、町内の小・中・高の柔道関係者や町民約百五十人が詰めかけ、柔道を始めたきっかけや各種の国際大会でのエピソードなどをユーモアを交えて話された。

一時間二十分の講演が短く感じられ、皆、満足そうであった。

